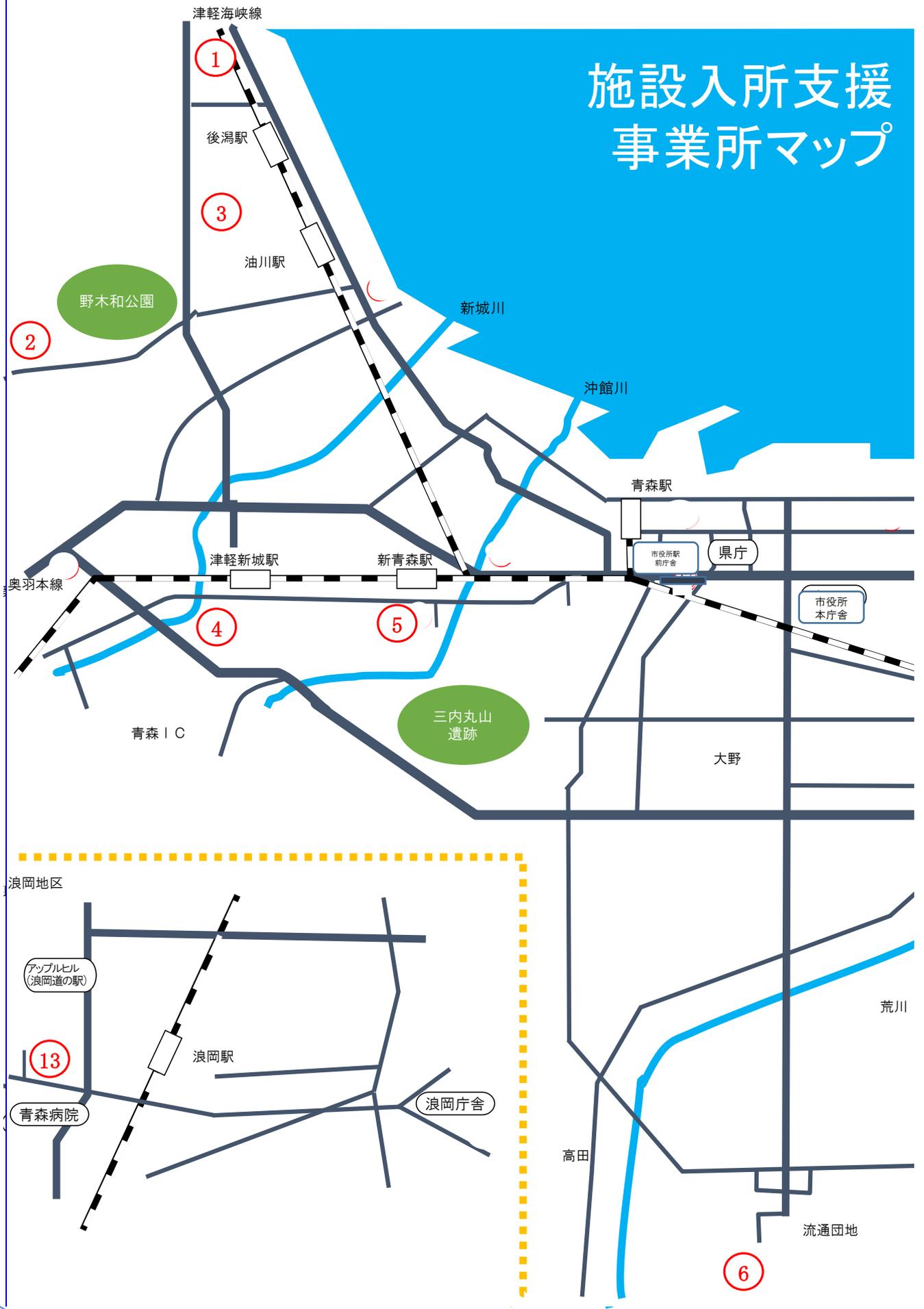


青森市内居住系
障害福祉サービス調べ
(令和3年3月現在)

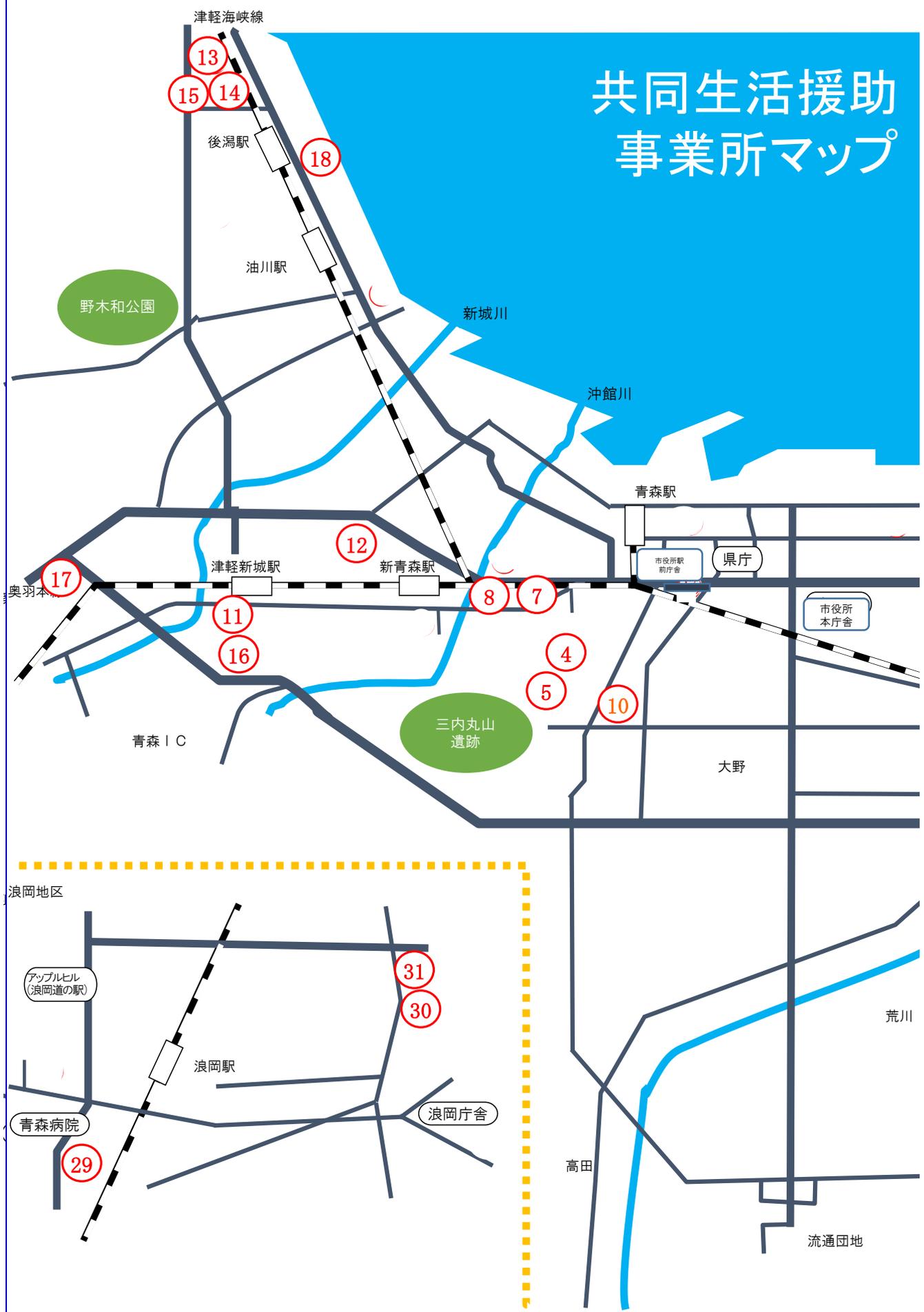


施設入所支援 事業所マップ



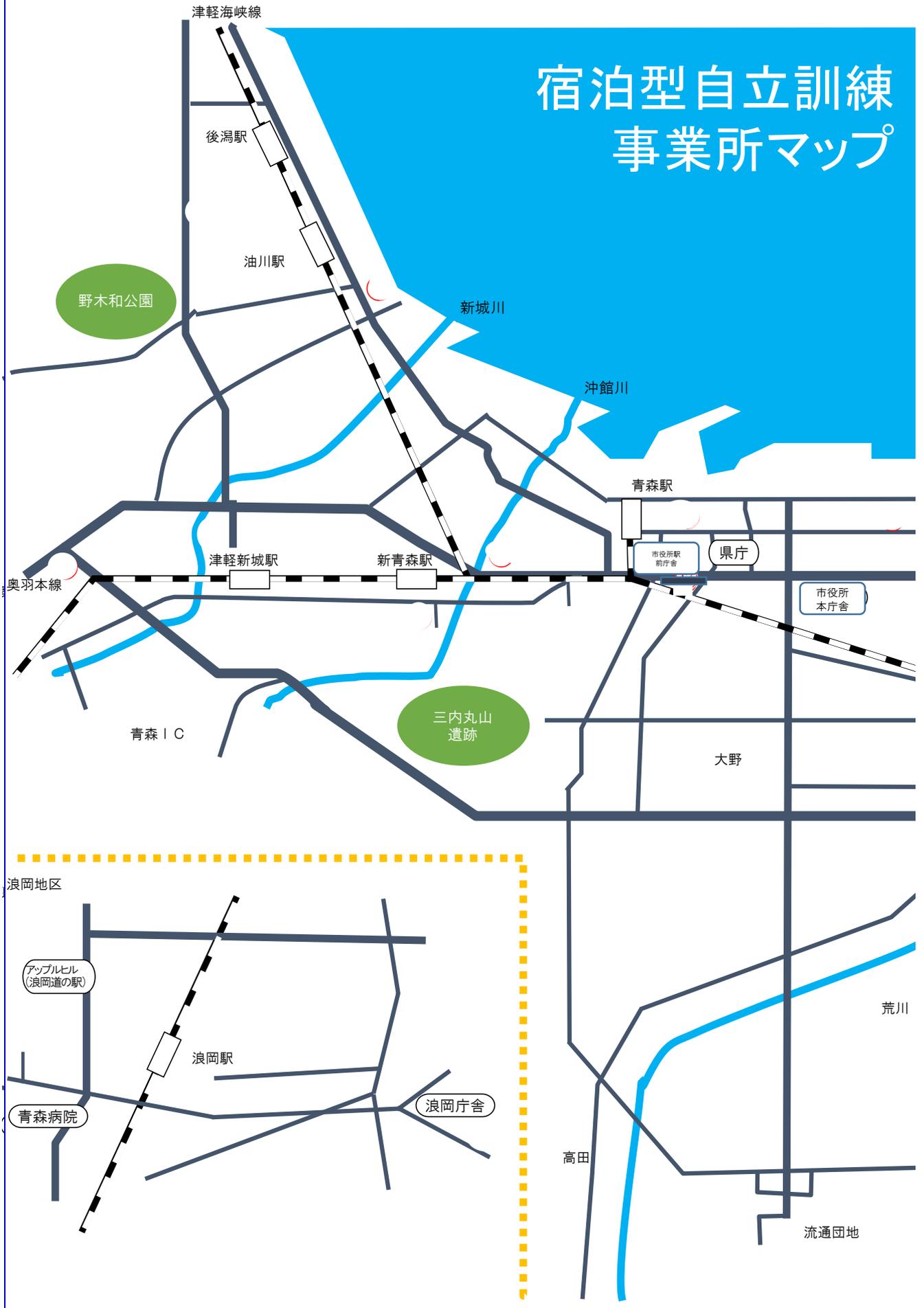


共同生活援助 事業所マップ





宿泊型自立訓練 事業所マップ





施設入所支援

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	①障害者支援施設 徳誠園	②障害者支援施設 野木和園
2	住 所	青森市四戸橋字磯部243-582	青森市岡町字宮本88-1
3	電 話	017-754-3713	017-787-2450
4	F A X	017-754-2427	017-787-3671
5	利用定員	60人	50人
6	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	知的：57人 精神：2人 合計59人	知的：50人 合計50人
7	現在の空床状況（R3.3.1現在）	1室	0室
8	部屋のタイプ	1人部屋：36室 2人部屋：12室	2人部屋：25室
9	入所希望待機時に必要な手続き等	待機登録の申し込み、本人の状況確認、施設見学等	
10	短期入所の有無	有（実費：食費、光熱水費1,760円/日）	有（実費：0円）
11	短期入所の利用しやすい曜日	月～金曜日	予約、待機者が多く、利用しやすい日はあまり無い
12	スタッフ人数	39人（内訳：看護師2、支援員24、他13）	41人（内訳：支援員30、他11）
13	夜勤の勤務体制	3人（内訳：男性支援員2、女性支援員1）	3人（内訳：支援員3）
14	起床時間 消灯時間	起床：6時 消灯：22時	起床：6時 消灯：21時
15	併設の日中系サービス名とその定員	1サービス名：生活介護 1定員：80人	1サービス名：生活介護 1定員：50人
16	日中活動の内容	・入浴、身辺処理、排泄、食事等の支援 ・創作活動、機能訓練 ・軽作業（手芸、畑、鉢作り、洗濯等）	生活介護全般、運動、レクリエーション
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	無	無
18	視覚障がい者への対応	その他（ご本人の状況に応じて）	可能
19	聴覚障がい者への対応	その他（ 同上 ）	可能
20	車いす利用者への対応	その他（ 同上 ）	可能
21	発達障がいの方への対応	要相談	不可能
22	65歳以上の方への対応状況	65歳以上の方は15人利用されているが個々の状態像、身体の状態に合わせた福祉用具の利用や活用により生活の質が低下しないように支援している	10人ほど利用している
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	障がい、ご本人の状況により対応可能	予定はしていない
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能
25	金銭管理契約	無	有（費用：0円）
26	服薬支援の状況	医務管理	薬預かり
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有（虐待防止委員会の設置と委員会の開催、福祉オンブズマン導入、施設内研修の実施、外部研修の参加、掲示物による啓発、職員論理綱領の読み合わせ、行動規範の周知等）	有（委員会の設置、研修）
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有（ポスター等の掲示、第三者委員、福祉オンブズマンとの面談等）	有（随時、身体を観察）
29	入所者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	無	無
30	入所者の宿泊旅行の有無	令和元年度、一泊・日帰り旅行	無
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有（施設行事において、地域住民の参加、地域での清掃活動）	有（行事（買い物や祭りなど））
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有（毎月一回、面会日の際に近況・状況報告等）	有（祭り行事、外泊、外出、面会）
33	令和元年度の 入退所状況	・新規入所者 1人 ・退所者 2人	・新規入居者 0人 ・退去者 0人
34	地域移行支援 利用者数と 退所状況	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人
35	地域移行に向けた取組 取り組み内容	グループホームの体験利用等	無
36	その他事業所の特徴 やアピールポイント など	幅広い年齢層の方が利用されています 市街地から離れ交通の便利は良いとは言えませんが、自然に囲まれたのどかな場所です	日常生活の介護、平穏な生活介護
37	利用相談窓口 担当者氏名	工藤 祐輝、長谷 由希子	支援課長：田中るみ子
38	担当者 と連絡が とれやすい時間帯	8：30～17：30月～金(平日)	平日 9：00～17：00

施設入所支援

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	③障害者支援施設 津麦園	④ゆきわり荘
2	住 所	青森市西田沢浜田379	青森市新城市平岡56-1
3	電 話	017-788-7111	017-787-3121
4	F A X	017-788-7110	017-787-3122
5	利用定員	50人	50人
6	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	身体：47人 合計47人	身体：10人、知的：50人、精神：2人 合計52人(利用人数) ※重複あり
7	現在の空床状況 (R3.3.1現在)	男性1室、女性2室	0室
8	部屋のタイプ	4人部屋：12室 3人部屋：1室	1人部屋：57室
9	入所希望待機時に必要な手続き等	ご本人の面談後に入所判定会議を実施(待機希望者も同様)	入所希望時は調査書を送付していただく、面会を行う待機時は特に手続きなど必要なし
10	短期入所の有無	有	有(実費：食事代1食500円)
11	短期入所の利用しやすい曜日	特にありません	月～木曜日
12	スタッフ人数	29人(内訳：サビ管1、PT1、看護師1、生活支援員26)	42人(現場支援、生活支援員42人)
13	夜勤の勤務体制	3人(内訳：日勤+準夜勤+宿直(男子1) 遅番+夜勤A・B(女子2))	2人
14	起床時間 消灯時間	起床：6時 消灯：22時	起床：6時 消灯：22時
15	併設の日中系サービス名とその定員	1サービス名：生活介護(通所) 1定員：30人	1サービス名：生活介護 1定員：60人
16	日中活動の内容	リハビリ訓練(運動、作業、言語訓練) 創作活動(多種多様) 社会参加(個別対応あり)	班活動、ピース作業、マッチング、運動、音楽鑑賞、ボール遊び、パズル、ぬり絵、習字、カラオケ、外出 ・菓子作り ・ピース作業 ・マッチング ・運動 ・音楽鑑賞 ・歩行 ・ボール遊び
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	無	無
18	視覚障がい者への対応	障害の程度により可	可能
19	聴覚障がい者への対応	障害の程度により可	可能
20	車いす利用者への対応	可能	可能
21	発達障がいの方への対応	要相談・検討であるが建物設備の関係上対応が困難な可能性あり	可能(給カードやスケジュール)
22	65歳以上の方への対応状況	本人の意向並びに制度に従っている	現在4名、対応は可能
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	現在入所している方には該当者なし	事件内容によっては支援可能
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう：不可能 ・経鼻栄養：不可能 ・気管切開：不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：可能	・胃ろう：不可能 ・経鼻栄養：不可能 ・気管切開：不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：可能
25	金銭管理契約	有(費用:月1,000円)	無
26	服薬支援の状況	その他(本人に合わせて本人管理、施設管理している)	医務で管理し、看護職員、生活支援員で服薬介助
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有(施設内研修会・外部研修会報告・新人研修で実施報告があった場合は朝礼、終礼で話題提供している)	有(虐待防止委員会の設置、年数回の虐待防止セルフチェック)
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有(サービス向上検討(虐待防止)委員会の設置、第3者委員・県運営適正化委員会・市町村に連絡できることを廊下提示または重要事項を説明書に記載)	有(苦情相談窓口、虐待相談窓口の掲示、オンブスマンの顔写真と電話番号の掲示、オンブスマンの定期的な巡回)
29	入所者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(自治会はないが利用者が小行事を企画・運営する会において利用者との話し合いが年3回あり、利用者の意見や要望を聞いている)	有(利用者会議の開催)
30	入所者の宿泊旅行の有無	無	宿泊無、日帰りのみ
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有(毎月の広報誌発行、毎週末の個人ボランティアの方により買い物代行、地域行事への参加のかしロード、市民センタ-祭り、日赤油川分団の彼岸団子、もちつき、地域向け行事(夏祭り、津麦園祭、地域合同避難訓練)	有(社会貢献活動)
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有(毎月の広報誌発行、面会時の状況報告、必要に応じて電話での報告、行事参加時の交流)	有(協賛で行事を実施、家族会主催行事への参加など)
33	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 3人 ・退所者 6人	・新規入所者 1人 ・退所者 2人
34	地域移行支援利用者数と退所状況	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人	・平成29年度：利用1人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用2人
35	地域移行に向けた取り組み内容	有(本人への情報提供、施設見学、関係機関との連携)	有(利用者さんにGHの生活を理解して頂くため説明、見学を行う)
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	平日のリハビリ訓練(運動、作業、言語)行っており、理学療法士の指示のもと訓練スタッフが個別に実施している	入浴サービス、オール電化、温冷配膳車
37	利用相談窓口担当者氏名	サービス管理責任者 大池一也、生活相談主任 舟橋 浩平	澤田 千秋、坂井 亮
38	担当者との連絡がとれやすい時間帯	どの時間帯でも可能ですが、不在時は折り返しご連絡します	8：30～16：30

施設入所支援

【西部・北部】

【南部】

1	事業所名	⑤青森県立あすなろ療育福祉センター	⑥障害者支援施設 金浜療護園
2	住 所	青森市石江字江渡101	青森市大別内字葛野180
3	電 話	017-781-0174	017-739-7208
4	F A X	017-766-4396	017-739-4077
5	利用定員	21人（障害児定員6人含む）	85人
6	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	身体：2人 重複（身体+知的）12人	身体：85人 合計85人
7	現在の空床状況（R3.3.1現在）	1床	0室
8	部屋のタイプ	3人部屋：6室 2人部屋：1室 1人部屋：1室	2人部屋：27室 1人部屋：35室
9	入所希望待機時に必要な手続き等	*今まで待機手続きを行ったことがありません	施設見学、聞き取り調査、入所申し込み等
10	短期入所の有無	有（実費：食費1,460円/日（低所得者は減額）、光熱費320円、日用品費）	新型コロナウイルスの影響により、現在休止中
11	短期入所の利用しやすい曜日	月～金曜日	月～木曜日
12	スタッフ人数	29人（管理者1、嘱託医3、サビ管1、看護師7、生活支援員5、栄養士1、調理員5、事務員5、運転員1）	90人
13	夜勤の勤務体制	2人（内訳：看護師2又は看護師1＋児童指導員等1）	4人
14	起床時間 消灯時間	起床：6時 消灯：21時	起床：7時 消灯：21時
15	併設の日系サービス名とその定員	・生活介護 定員20（内訳通所5、入所15） ・短期入所 定員6（内緊急ベッド1）	1サービス名：生活介護 1定員：93人
16	日中活動の内容	・入浴、排泄、食事等の支援 ・創作活動 ・音楽遊び等担当者がその日の活動内容を決める	パズル、ぬり絵、レクリエーション等の他、生け花、書道、文芸の各種クラブ活動を行っている
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	有	無
18	視覚障がい者への対応	ご本人の状況に応じて相談	可能
19	聴覚障がい者への対応	ご本人の状況に応じて相談	可能
20	車いす利用者への対応	可能	可能
21	発達障がいの方への対応	ご本人の状況に応じて相談	肢体不自由との重複であれば支援可能
22	65歳以上の方への対応状況	現在65歳以上の受け入れはないが、ご本人の状況に応じて相談	対応可能
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	ご本人の状況に応じて相談	問題行動、危険行動が無い場合検討
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう： 要相談 ・経鼻栄養： 要相談 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：可能	・胃ろう： 可能 ・経鼻栄養： 可能 ・気管切開： 可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：可能
25	金銭管理契約	有（費用：0円）	有（費用：月1,000円）
26	服薬支援の状況	服薬管理	医務管理
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有（虐待防止委員会の設置、職員論理綱領・行動規範・虐待防止マニュアルの作成、虐待通報受付窓口・同対応責任者の設置、虐待防止のため外部研修参加や内部研修会を実施、職員セルフチェックリストの実施）	有（職員に対する内部研修の実施）
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有（重要事項説明書・虐待防止体制・通報窓口・苦情解決制度の掲示）	有（月1回、施設責任者と入所者の意見交換会を実施）
29	入所者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	有（自治会を2ヶ月に1回開催し、入所者の意見を重視している）	無
30	入所者の宿泊旅行の有無	無	有（約2年に1回程度職員帯同で宿泊旅行あり、個人的にボランティアや家族との宿泊旅行でも可）
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有（近隣町会のねふた慰問）	有（施設行事の際や外出支援時に交流の機会がある）
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有（施設行事への家族参加。外泊等送迎時の情報交換、広報紙の配布） （面会・外出・外泊は随時受け入れている）	有（家族会を通しての意見交換、定例行事を通しての家族との交流を行っている）
33	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 1人（重複1人） ・退所者 0人（身体0人）	・新規入所者 4人 ・退所者 3人
34	地域移行支援利用者数と退所状況	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人
35	地域移行に向けた取り組み内容	無	有（他事業所との連携）
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	肢体不自由を主な対象とする障害児入所施設を併設し、児童期から成人期まで一貫した入所も可能 看護師が24時間健康に留意し、併設の診療所でリハビリテーションを受ける事ができます	重度身体障害者の入所施設のため、重度障害や医療行為等に対応可能
37	利用相談窓口担当者氏名	生活支援課：晴山 順一	加藤 悠葵
38	担当者連絡がとれやすい時間帯	8：30～16：45	9：00～17：00

施設入所支援

【東部】

【東部】

1	事業所名	⑦指定障害者支援施設 青森コロニーセンター	⑧青森コロニーハビリ
2	住 所	青森市幸畑字谷脇214-7	青森市幸畑字松元62-6
3	電 話	017-738-5032	017-738-5145
4	F A X	017-728-1731	017-728-1732
5	利用定員	60人	40人
6	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	身体：42人、知的：5人、精神：3人 合計50人	身体：34人、知的：4人、精神：1人 合計39人
7	現在の空床状況 (R3.3.1現在)	9室	1名
8	部屋のタイプ	1人部屋 60室	2人部屋：19室 1人部屋：6室
9	入所希望待機時に必要な手続き等	福祉サービス受給者証、各種手帳、保険証、医師の紹介状（必要時）等	
10	短期入所の有無	無	無
11	短期入所の利用しやすい曜日		
12	スタッフ人数	10人（内訳：管理者1、サビ管1、生活支援4、栄養士1、調理員3）	14人（内訳：管理者1、サビ管1、生活支援員8、栄養士1、調理員3）
13	夜勤の勤務体制	2人（内訳：16:40~0:40 0:35~8:35）	7人（16:40~8:45 2交替、常時2人で勤務）
14	起床時間 消灯時間	起床：7時 消灯：22時	起床：7時 消灯：22時
15	併設の日系サービス名とその定員	1サービス名：就労継続支援B型 1定員：40人 2サービス名：生活介護 2定員：20人	1サービス名：就労継続支援B型 1定員：40人 2サービス名：生活介護 2定員：20人
16	日中活動の内容	印刷：チラシのはめ込み、印刷物の封入、封緘、シール印刷の関連業務等 その他菓子箱の組立、銅線の皮むき、ウエス製作など 縫製：洋服の修理、リフォーム クリーニング：一般のドライクリーニング作業、配達補助、病院・有料老人ホームのクリーニング作業	主として生産活動(印刷、軽作業、農作業)生活介護については、生産活動の他、機能訓練、機能向上プログラム、入浴支援の提供
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	有(4人、同協会の他事業所(入力作業メイン)へ通所している)	無
18	視覚障がい者への対応	可能（調理以外の日常生活が自立している方）	その他（弱視程度は可）
19	聴覚障がい者への対応	可能（調理以外の日常生活が自立している方）	可能
20	車いす利用者への対応	可能（調理以外の日常生活が自立している方）	可能
21	発達障がいの方への対応	可能(曜日ごとのスケジュールを掲示、声掛け)	状況による
22	65歳以上の方への対応状況	市町村と相談のうえ可能な場合あり	現在65歳以上の方は8人、70歳を超える方は3人
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	現在支援している	状況による
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器： 場合により可能 ・褥そう処置： 不可能	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器： 不可能 ・褥そう処置： 不可能
25	金銭管理契約	有(費用：0円)	有(費用：0円)
26	服薬支援の状況	本人管理が困難な方のみ薬預かり	自己管理不十分な方について事業所で管理
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有（施設内外での研修実施、参加。第3者委員、苦情解決窓口の設置）	有（利用者虐待の対応や防止等の理解を図るため、外部研修会の参加や内部研修会を実施している）
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有（ポスター等の掲示、第3者委員、苦情解決窓口の設置）	有（虐待防止の為に内部組織等について施設内に掲示している）
29	入所者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	有（自治会あり、入所者6人の役員が中心となっている）	有（月1回、自治会役員と懇談会を開催している）
30	入所者の宿泊旅行の有無	無	無（年1回、日帰り旅行を実施している）
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有（地域住民を招いた祭りを9月に開催）	有（年1回コロニー祭りを開催し地域交流を図っている、また年末に地域の方とのゲーム大会で交流を図っている）
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有（必要に応じて連絡・相談を行っている）	有（家族会などはないが、状況に応じ電話連絡や事業所に来ていただき相談するなど関わっている）
33	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 3人 ・退所者 6人	・新規入所者 3人 ・退所者 2人
34	地域移行支援利用者数と退所状況	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人
35	地域移行に向けた取り組み内容	有（希望者には相談支援事業所と連絡を取り合いながら対応）	有（仕事と生活の支援を同時に行っている）
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	多様な事業展開をしている為、利用者の状況に合わせた作業を選択可能状態の変化にも対応可能	最近では職業訓練の他、レク活動の充実を図っている 車椅子に乗ったままで出来るスポーツや、山菜採り、釣りなど実施している
37	利用相談窓口担当者氏名	サービス管理責任者：鎌田 美由紀	サービス管理責任者：加藤
38	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8：30～17：30	9：00～17：00（月～金）

施設入所支援

【東部】

【東部】

1	事業所名	⑨障害者支援施設 こぶし園	⑩青森月見寮
2	住 所	青森市田茂木野字阿部野114-5	青森市駒込字月見野918-3
3	電 話	017-738-3100	017-742-3000
4	F A X	017-738-3324	017-742-3384
5	利用定員	40人	46人
6	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	知的：35人 合計35人	知的：45人 合計45人
7	現在の空床状況（R3.3.1現在）	0室 ※部屋が2～3人部屋のため	1室
8	部屋のタイプ	3人部屋：1室 2人部屋：15室 1人部屋：1室	1人部屋：50室（短期入所用含む）
9	入所希望待機時に必要な手続き等	※今まで、待機の手続きを行った事がない	
10	短期入所の有無	無	有
11	短期入所の利用しやすい曜日	平日	
12	スタッフ人数	34人	35人（内訳：管理者1、サビ管1、看護職員1、生活支援員17、パート支援員3、夜間専門支援員2、管理栄養士1、厨房職員6、事務員2、介助員1）
13	夜勤の勤務体制	3人（17:00～9:00、17:30～9:30、18:00～8:00）	3人（内訳：夜勤2、夜間支援員1）
14	起床時間 消灯時間	起床：6時 消灯：21時	起床：6時30分～7時 消灯：21時～23時
15	併設の日系サービス名とその定員	1サービス名 生活介護 1定員 70人	1サービス名：生活介護 1定員：40人
16	日中活動の内容	・DVD鑑賞 ・体づくり ・機能訓練 ・調理支援 ・整容 ・外部講師（ダンス、リトミック） ・製作 ・買い物支援	畑、園芸、歩行、水彩画、習字、貼り絵 等
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無		有（法人内の生活介護事業4人）
18	視覚障がい者への対応	その他（障害の状況による）	応相談
19	聴覚障がい者への対応	その他（障害の状況による）	応相談
20	車いす利用者への対応	可能	可能（要相談）
21	発達障がいの方への対応	障害の状況による	可能
22	65歳以上の方への対応状況	無理のないカリキュラムと健康管理に配慮し、必要に応じて対応している	歩行等を中心にレクレーションを実施、通院介助
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	今まで受入れなし、今後支援検討	その都度検討
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ※夜間、看護師が勤務していない為 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能	・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能
25	金銭管理契約	有（費用：0円）	有（費用：月1,500円）
26	服薬支援の状況	薬預かり（全利用者服薬介助）	薬預かり
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有（施設内研修の実施、外部研修の参加、職員セルフチェックリストの活用、委員会の設置）	有（虐待防止委員会、職員研修、マニュアル作成）
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有（重要事項説明書等に記載、廊下に掲示）	有（苦情受付窓口の設置）
29	入所者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	有（自治会を月に1回）	無
30	入所者の宿泊旅行の有無	有（年1回、数班に分かれて行っている）	有（年1回）
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有（夏祭り、こぶし祭りの際、町内へチラシにて事前にお知らせし、無料食券を配布している）	有（つぎみのまつりでの交流）
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有（運動会終了後親の会を実施、広報紙の作成、行事へ参加した際や帰省時や面会の際は家族と話をするように利用者の様子を伝えている）	有（行事参加と面会日、親睦会）
33	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 2人 ・退所者 2人	・新規入所者 2人 ・退所者 0人
34	地域移行支援利用者数と退所状況	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人	・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人
35	地域移行に向けた取り組み内容	有（法人のグループホームへ練習期間を経て移行、今まで19人移行）	無
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	築32年で建物は古くて部屋も狭いが、清潔な環境と利用者が楽しく安全な生活が送れるようスタッフ一同努めている	施設での生活は家庭としての機能を持てるように努めている
37	利用相談窓口担当者氏名	サービス管理責任者：神 朋樹、齋藤 香利	沢田 竜志・今 智博
38	担当者連絡がとれやすい時間帯	9：00～16：30（平日）	9：00～17：00（平日）

施設入所支援

【東部】

【東部】

1	事業所名	①障がい者支援施設 幸養苑	②八甲学園
2	住 所	青森市泉野字野脇46-61	青森市横内字桜峰63-1
3	電 話	017-726-5855	017-738-2104(代表)
4	F A X	017-737-3369	017-738-2116(共用)
5	利用定員	30人	14人(障害児入所と経過的施設入所支援合わせて)
6	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:32人 合計32人	知的:13人 (措置8人、契約5人)
7	現在の空床状況 (R3.3.1現在)	0室	1室
8	部屋のタイプ	2人部屋:14室 1人部屋:4室	1人部屋:10室 2人部屋:2室
9	入所希望待機時に必要な手続き等		まず電話連絡をお願いします
10	短期入所の有無	有	有(実費:食事代+光熱費、低所得者は減額)
11	短期入所の利用しやすい曜日	平日 ※緊急受入要項に基づいて緊急受入あり	空床型のため入所・帰宅状況によって異なりますが要予約のため利用しづらいです
12	スタッフ人数	32人(管理者1、サビ管1、生活支援員29)	16人(管理者1、看護師1、児童発達管理責任者1、心理指導員1、職業指導員1、児童指導員9、非常勤医師2)
13	夜勤の勤務体制	2人(内訳:16:15~9:15 男女各1)	2人(内訳:B棟(おおむね小学生男子+女子)1、A棟(おおむね中学生男子~成人男子)1)
14	起床時間 消灯時間	原則的な日課なし	起床:6時 消灯:20時~22時
15	併設の日中系サービス名とその定員	1サービス名:生活介護 1定員:49人 2サービス名:自立訓練(生活訓練) 2定員:6人	1サービス名:放課後等デイサービス 1定員:10人 2サービス名:就労移行支援 2定員:6人(就労継続支援(B型)25人) 3サービス名:生活介護 3定員:9人
16	日中活動の内容	生活介護...グループ体制(創作、身辺介護、作業、高齢の4G)十個別支援(行動障害等) 生活訓練...訓練プログラムに基づく活動	・入浴、排泄、食事の介護及び支援 ・外出活動 ・創作的活動 ・余暇、レクリエーション活動の支援 ・軽運動(散歩、歩行、トランポリン)
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	有(1人)	無
18	視覚障がい者への対応	可能	ご本人の障がいの状況等をふまえて検討いたします
19	聴覚障がい者への対応	可能	ご本人の障がいの状況等をふまえて検討いたします
20	車いす利用者への対応	その他(一部可能)	ご本人の障がいの状況等をふまえて検討いたします
21	発達障がいの方への対応	可能(個別プログラムに基づく)	新規利用困難(要相談)
22	65歳以上の方への対応状況	高齢グループでの対応中心	対応不可
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	H29年9月より触法行為を犯した方を短期入所して緊急受け入れ。現在も継続中)	児童であればその都度検討いたします
24	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
25	金銭管理契約	有(費用:月1,000円)	有(費用:0円)
26	服薬支援の状況	その他(状況に応じ職員又は本人管理確認)	薬は医務室で管理、服薬は看護師、支援スタッフが介助・確認
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有(虐待防止委員会による対応、チェックリストの実施、実施結果に基づき施設長との個別面談実施、内部研修等)	有(マニュアル作成と職員への周知、外部研修への積極的な参加、各会議や朝会における内部研修及び注意喚起、朝会(申し送り時)において職員論議網羅・厳守事項等の読み合わせ、虐待防止セルフチェックの実施等)
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有(苦情等受付しやすい環境、掲示物による啓発等)	有(苦情解決【虐待防止対応】体制図の園内掲示、第三者委員による苦情受付の日程及びその内容の表示、重要事項説明書への記載、児童の会での勉強会等)
29	入所者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(利用者会)	有(児童の会、棟でのミーティング)
30	入所者の宿泊旅行の有無	有(グループ別に年1回程度)	無
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有(夏まつり開催時、地域へ案内等配布し抽選会等実施 他青森工業高校とのねふた交流等)	有(町内会への清掃ボランティア、総合避難訓練、夏まつり、クリスマスの集い等行事での交流)
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有(年4~5回程度懇談会や障害福祉サービスに関する説明会等実施、その他クリスマス会等で協賛し開催、年3回広報誌の発送等)	有(帰宅、面会時での対応、行事を通じた交流、学校の手続きや面談等の対応、保護者懇談会、個別支援計画の説明、移行に向けた情報提供や話し合い等)
33	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 0人 ・退所者 0人	・新規入所者 0人 ・退所者 6人(知的6人) ・退所先(障害者支援施設、グループホーム、自宅)
34	地域移行支援利用者数と退所状況	・平成29年度:利用2人 ・平成30年度:利用0人 ・令和元年度:利用0人	・平成29年度:利用0人 ・平成30年度:利用0人 ・令和元年度:利用0人
35	地域移行に向けた取り組み内容	有(自立訓練プログラムに基づく)	有(グループホーム見学、企業実習)
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	強度行動障がい支援整備事業による専門研修の実施(県単事業)・在宅障害者への様々な相談対応 短期入所等緊急受入れの強化、実施(地域でのセーフティネット役割強化)	定員を縮小しながらも障害児入所施設として地域に貢献していきます
37	利用相談窓口担当者氏名	副院長 船橋	入所 中野 正樹 短期 齋藤 智恵美
38	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8:00~17:00(平日)	8:30~17:30(平日)

施設入所支援

【浪岡地区】

1	事業所名	⑬指定障害者施設施設りんどう苑
2	住 所	青森市浪岡樽沢字上野74-1
3	電 話	0172-62-1800
4	F A X	0172-62-1801
5	利用定員	80人
6	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	身体：11人、知的：80人、精神：7人 合計80人(重複障害あり)
7	現在の空床状況（R3.3.1現在）	0室
8	部屋のタイプ	1人部屋：83室
9	入所希望待機時に必要な手続き等	待機名簿への申し込み
10	短期入所の有無	有(実費：0円)
11	短期入所の利用しやすい曜日	特になし
12	スタッフ人数	76人(内訳：管理者1、サビ管2、看護師2、管栄養士1、支援員53、調理員7、事務等3、業務員7(他、嘱託医2、PT1))
13	夜勤の勤務体制	7人
14	起床時間 消灯時間	起床：6時30分 消灯：21時
15	併設の日系サービス名とその定員	1サービス名：生活介護 1定員：80人
16	日中活動の内容	作業：リサイクル、受注、園芸 活動：ゆうゆう、いきいき
17	併設の日中活動サービス以外を利用している人の有無	無
18	視覚障がい者への対応	その他（ご本人の障害程度による）
19	聴覚障がい者への対応	その他（ご本人の障害程度による）
20	車いす利用者への対応	その他（ご本人の障害程度による）
21	発達障がいの方への対応	可能
22	65歳以上の方への対応状況	対応は可能だが状態による
23	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	その都度検討
24	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう： 不可能 ・経鼻栄養： 不可能 ・気管切開： 不可能 ・人工呼吸器： 不可能 ・褥そう処置： 不可能
25	金銭管理契約	有(費用：月1,000円)
26	服薬支援の状況	薬預かり(全利用者服薬介助)
27	施設内の虐待防止に向けた取組	有(会議内での話し合い、外部研修参加)
28	虐待防止に向けた入所者への啓発	有(苦情受け付け)
29	入所者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(職員主導ではあるが自治会活動あり)
30	入所者の宿泊旅行の有無	有(年1回実施)
31	入所者の地域交流の機会等の有無	有(地域の行事へ参加)
32	施設側からの家族へのかかわり状況	有(月1回の電話連絡)
33	令和元年度の入退所状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入所者 2人 ・退所者 2人 ・退所先(死亡、介護保険施設)
34	地域移行支援利用者数と退所状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度：利用0人 ・平成30年度：利用0人 ・令和元年度：利用0人
35	地域移行に向けた取り組み内容	有(利用者のGH体験)
36	その他事業所の特徴やアピールポイントなど	都外施設ということで東京都出身の利用者様が多く利用されていますが、青森県の方もご利用可能となっています
37	利用相談窓口担当者氏名	サビ管2人(雪田 貴宏、清野 浩)
38	担当者との連絡がとれやすい時間帯	平日、日勤帯

グループホーム

【中央部】

【中央部】

1	事業所名	①藤ヨゼフハウス	②サンハウス
2	住 所	青森市奥野2丁目25-9	青森市緑2丁目4-6
3	電 話	017-776-2320	017-738-2104(八甲学園)
4	F A X	017-777-2435	017-738-2116(八甲学園)
5	利用定員	57人	55人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:51人 精神:3人 合計54人	知的:51人 (うち重複 身障2人、精神3人)
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	3室	4室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	グループホームの見学・体験利用	見学をしていただく (できれば体験も)
10	世話人の勤務時間	6:00~9:00、16:00~20:00	通い型 6:00~9:00 16:00~22:00 夜勤型 15:30~9:30 8:30~17:30
11	夜間の勤務または支援体制	重度・高齢者が入居する2ホーム夜勤体制あり	2人 (夜勤型 2か所に各1名)
12	夜間の緊急対応体制	セコム、緊急時電話連絡網による対応	事業所の緊急連絡体制及びセコムの利用
13	起床時間 消灯時間	規定なし	起床:6時 消灯:22時
14	食事提供の有無	有	有 (食事支援の方法: 平日は朝・夕の提供、土・日祭日は無)
15	視覚障がい者への対応	弱視者2人利用中	要相談
16	聴覚障がい者への対応	不可能	要相談
17	車いす利用者への対応	不可能	不可能
18	発達障がいの方への対応	可能 (個別状況による)	可能 (スケジュール等の使用)
19	65歳以上の方への対応状況	本人のニーズにより介護サービスも個別対応	身体機能・認知機能等により要相談
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	利用希望者の状況によっては支援可能	要相談
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有 (虐待防止委員会、第三者委員会設置・月次全職員会議内での研修など)	有 (虐待防止委員会設置、研修参加、セルフチェック実施)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有 (オンブズマン訪問・虐待防止パンフレット配布、掲示)	有 (苦情解決体制の掲示、パンフレット配布)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無 (自治会など)	有 (自治会は無、利用者が主体となった行事、日帰り旅行任意参加で有)	有 (利用者の会「はっぴー」行事等の企画)
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	有 (当事業所全体の行事参加やホーム内で交流の場を持つ)	有 (誕生会で外食したり、利用者同士コミュニケーションがとれるよう職員、世話人が入ったりすることもある)
26	入所者の宿泊旅行の有無	有 (利用者の意見を反映し任意参加で年1回実施)	有 (年1回、日帰り・宿泊を交互に実施)
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有 (お花見会、納涼会・クリスマス会等任意参加・地域活動は個別参加)	有 (町内会の花植えや地域なふたに参加)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有 (帰省時の連絡・生活状況の報告等)	有 (帰省の連絡、広報の送付、緊急時の連絡対応)
29	令和元年度の入退居状況	・新規入居者 3人 (知的2人、精神1人) ・退居者 0人	・新規入居者 4人 ・退居者 1人
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)	食費 24,000円程度 光熱水費 13,000円程度 部屋代 14,500~35,000円程度(補助有) 日用品費 3,000円程度	家賃 14,686円 光熱水費 14,000円 食費等 18,000円 ※GHIによって多少の違いあり
31	体験利用の費用 (日額実費分)	日額:1,483~2,163円程度	1日あたり 家賃・共益費約1,000~1,500円 (各グループホームごとの日割り額) 食費 朝・夕 900円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	年50日以内(1回あたり連続30日以内)	1日~、1回~ (徐々に期間を延ばし複数回、等も可能)
33	金銭管理契約	有(費用 月額1,000円 重要事項説明書により契約)	有(費用 0円)
34	服薬支援の状況	GHで薬預かり・薬は本人管理で服薬確認のみ (個別状況による)	可能な方は自己管理、必要に応じ預かりや服薬確認も対応可能
35	外出時の同行範囲と支援内容	病院、買い物、行事参加、事務手続 (必要に応じて同行)	県内 通常は通院・買い物・行政手続等
36	利用相談窓口担当者氏名	三浦 賢一、工藤 智子	菊池 一真、横内 康雄、江刺家 聡子
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	10:00~17:00 (月~金)	8:30~17:30 (火~金)

グループホーム

【中央部】

【中央部】

1	事業所名	③特定非営利活動法人サンネット青森 ワークスコレクティブハウスひいらぎ	④グループホーム ひかり	グループホームふるかわ
2	住 所	青森市浦町字奥野343-1	青森市久須志3丁目1-26	青森市古川3丁目15-7
3	電 話	017-718-4566 (日中017-732-7741)	017-766-8183	017-777-7870
4	F A X	017-732-7741	017-718-2883	017-777-7870
5	利用定員	6人	9人	11人
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	外部サービス利用型	外部サービス利用型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	精神:6人 合計6人	知的:6人、精神:3人	知的:5人、精神:4人、身体:2人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	0室	0室	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	グループホームの見学、体験利用 体験利用のための支給決定	相談支援事業所との契約	同左
10	世話人の勤務時間	日勤 8:30~17:30 遅番 15:00~19:00	6:00~9:00、15:00~20:00	15:00~20:00
11	夜間の勤務 または支援体制	1人 (宿直 21:00~8:00)	1人 (管理人)	1人 (ひかり管理人)
12	夜間の緊急対応体制	宿直 21:00~8:00 事業所緊急連絡網 アルソックへ連絡	管理人が対応し、サービス管理責任者へ連絡	同左
13	起床時間 消灯時間	各自の生活のなかで行っていて、特に決めていない	起床: 時 消灯:22時	なし
14	食事提供の有無	土曜日の夕食のみ	有	有
15	視覚障がい者 への対応	不可能	不可能	不可能
16	聴覚障がい者 への対応	不可能	不可能	可能
17	車いす利用者 への対応	不可能	不可能	不可能
18	発達障がいの方 への対応	可能	可能	可能
19	65歳以上の方 への対応状況	2名の入居者がいる	なし	なし
20	刑事事件または懲役を 受けた障がい者の支援 状況	現在なし	その他(現在は不可能)	同左
21	医療行為が必要な方の 受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	同左
22	事業所内の虐待防止に 向けた取組	有 (管理者を中心に事業所内で周知)	有 (年1回の自己評価及び研修 への参加)	同左
23	虐待防止に向けた 入居者への啓発	有 (相談窓口設置)	有 (虐待防止パンフレットを掲示)	同左
24	入居者自身が主体と なった集まりの有無 (自治会など)	有 (自発的に交流している)	無	無
25	入居者同士の人間関係 作りに向けた働きかけ	有 (日曜日朝にミーティング、水曜日の全体夕食にて、情報交換、交流を図っている)	有 (行事を企画し、仲間意識を 高めている)	同左
26	入所者の宿泊旅行の有 無	無 (必要に応じて研修をかねて行うことがある)	有 (個別に旅行している またサークルの旅行に参加)	同左
27	入所者の地域交流の機 会等の有無	有 (町会活動への参加)	無	無
28	施設側からの家族 へのかかわり状況	無 (必要に応じて連絡 家族の訪問がある人もいる)	有 (相談したい事があつたりすると 電話をかける)	同左
29	令和元年度の 入退居状況	・新規入居者 0人 ・退居者 0人	・新規入居者 0人 ・退居者 0人	1人 0人
30	1月の利用料・実費分 (内訳:家賃、光熱費、 食費等)	家賃 30,000円 (夫婦の場合は40,000円) 水道代、電気代、灯油、ガス代は個メーターによって各自支払う	家賃18,000円、光熱費14,000円 食費:朝食160円、夕食460円	家賃30,000円 光熱費:実費、食費:夕食460円
31	体験利用の費用 (日額実費分)	家賃日割料金 1日1,000円(光熱費含む) ※体験日数分	1泊料金 1,620円 (お部屋利用料、布団含1,000円 朝食160円、夕食460円)	なし
32	利用までの 体験利用の 期間及び回数	特に制限なし	相談に応じますが、2泊3日 が多いです	なし
33	金銭管理契約	無	有(費用 0円)	同左
34	服薬支援の状況	薬は本人管理で服薬確認のみ	GHで薬預かり	同左
35	外出時の同行範囲と支 援内容	必要に応じて	必要に応じて同行	同左
36	利用相談窓口 担当者氏名	根本 俊雄	サービス管理責任者 佐々木 ひろみ	同左
37	担当者と連絡が とれやすい時間帯	9:00~17:00	9:00~17:00	同左

グループホーム

【中央部】

【中央部】

1	事業所名	⑤障がい者支援就労支援事業所 株式会社 実 グループホームなごこ	⑥グループホームあかり
2	住 所	青森市久須志3丁目15-20	青森市花園1丁目25-17
3	電 話	017-783-2252 (日中 017-752-0791)	017-757-8692
4	F A X	017-752-0792	017-757-8693
5	利用定員	7人	20人
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	精神:5人 合計5人	知的:5人、精神13人 合計:18人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	2室	2室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	グループホームの見学、体験利用 体験利用のための支給決定	グループホームの見学、体験利用等
10	世話人の勤務時間	日勤 8:30~17:30	9:30~20:00
11	夜間の勤務 または支援体制	無	20:00以降は職員不在
12	夜間の緊急対応体制	事業所緊急連絡網、セコムへの連絡	電話対応、監視カメラ、ALSOK
13	起床時間 消灯時間	起床:6時 消灯:22時	定めなし
14	食事提供の有無	有	昼食、夕食有(希望者のみ)
15	視覚障がい者への対応	不可能	特になし
16	聴覚障がい者への対応	不可能	特になし
17	車いす利用者への対応	不可能	特になし(エレベーター無)
18	発達障がいの方への対応	可能(手順書がワークシステムを取り入れている)	個別支援にて対応
19	65歳以上の方への対応状況	不可能	現在無
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	事件内容によっては受入れ可能	現在無
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 要相談 ・経鼻栄養: 要相談 ・気管切開: 要相談 ・人工呼吸器: 要相談 ・褥そう処置: 要相談
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有(管理者を中心に事業所内で周知)	有(虐待防止マニュアルに沿った研修を実施)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有(相談窓口設置)	有(虐待防止パンフレットを掲示)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(意見箱の設置、自治会あり)	無
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	有(なるべく接触時間を取り、共有スペースで過ごす様声掛けしている)	無
26	入所者の宿泊旅行の有無	無(生保受給者が多数の為、難しいと思われる)	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有	無
28	施設側からの家族へのかかわり状況	無(家庭環境が複雑な入居者が多い為、連絡が難しい)	無
29	令和元年度の入退居状況	・新規入居者 0人 ・退居者 1人	・入居 1名 ・退去 1名 ・体験 6名
30	1月の利用料・実費分(内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 32,000円 インターネットを使う入所者は月1,000円(固定) 日用品費、水道代、電気代、灯油、ガス代は居室の数(10室)で割った額 ※食事配食も個人によって違う	家賃30,000円、水道代5,000円、電気代5,000円、ガス代5,000円 食費(希望者のみ) 昼食300円、夕食400円
31	体験利用の費用(日額実費分)	家賃日割料金 1日 1,350円(光熱費含む) 昼食・夕食 各500円 ※体験日数分	家賃1,000円、水道代・電気代・ガス代0円 食費(希望者のみ) 昼食300円、夕食400円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	特に制限なし	特に制限なし
33	金銭管理契約	有(費用 0円)	無(希望者には可能な限り対応)
34	服薬支援の状況	GHで薬預かり 薬は本人管理で服薬確認のみ	・服薬有無の声掛け確認 ・一日分の配薬対応
35	外出時の同行範囲と支援内容	特に範囲は決めていない、月に1回買い物支援 門限21:00まで帰宅するよう声掛け	買い物時(量が多い又は重い場合)、通院時(自力での移動が困難な場合)、その他(市役所の書類記載が困難、契約内容を正しく判断できない、目的地への行き方がわからない等) 必要に応じて
36	利用相談窓口担当者氏名	齋藤 和久、成田 麻美	サービス管理責任者 田中 克宜
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8:30~17:30	9:00~16:30

グループホーム

【中央部】

【中央部】

1	事業所名	㊦グループホーム クレーネ	㊧TO-BE
2	住 所	青森市千刈2丁目1-30	青森市富田2丁目5番12号
3	電 話	017-711-8189	090-9031-8723
4	F A X	017-711-8189	-
5	利用定員	12人	4人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	精神・知的	知的障がい:3人 精神障がい:1人（重複）
8	現在の空室状況（R3.3.1現在）	千刈 1室、幸畑B 2室	1室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	体験利用	併設型の短期入所や体験利用を行い、相互に情報交換や特性を理解した上で本利用となります。まずはご相談ください。
10	世話人の勤務時間	6:30～19:30（内休憩5時間）9:00～18:00	6:00～8:30 17:00～20:00
11	夜間の勤務または支援体制	千刈・幸畑A 夜勤支援従事者、幸畑B 連絡体制による対応	月曜日から木曜日まで宿直体制 そのほかの日については適宜宿直者を配置している
12	夜間の緊急対応体制	緊急連絡網での連絡、対応	緊急連絡網により対応する
13	起床時間 消灯時間	特に定めなし	特に決まりなし。各々生活スタイルに合わせて日中の活動を精力的に行えるよう考慮した時間
14	食事提供の有無	朝・夕の提供有（土日祝日、その他休日カレンダーによる休日は食事提供なし）	有 ※昼食については利用前に要確認
15	視覚障がい者への対応	不可	要相談
16	聴覚障がい者への対応	不可	要相談
17	車いす利用者への対応	不可	要相談
18	発達障がいの方への対応	出来る限り対応	個々に合わせ対応可能
19	65歳以上の方への対応状況	無	要相談
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	無	要相談
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	研修等を行う。管理者が研修を行い内部伝達する	有（マニュアルの整備、職員研修、セルフチェックリスト）
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	入居の契約の際に説明、あわせて相談体制等を案内している	有（事業所内に虐待防止ポスターの掲示）
24	入居者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	無	無
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	買い物支援等レクリエーション	会話等をする時は、職員も積極的に関わる。出来ることを褒めあう。
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	無	無
28	施設側からの家族へのかかわり状況	生活状況等の連絡相談	市内の利用者が多いため、定期的に帰省する際に情報交換をしている。いつでも連絡が取れるようにしている。
29	令和元年度の入退居状況		
30	1月の利用料:実費分（内訳:家賃、光熱費、食費等）	家賃 31,000円 食費 1食 朝350円、夕550円 光熱水費等は個人で業者と契約	家賃 15,000～18,000円（居室の大きさによって変動） 光熱費 10,000円 食費1食 500円 ネット代 500円
31	体験利用の費用（日額実費分）	家賃 1,000円 食費 朝350円 夕550円	グループホームを体験利用する方は、食事の実費負担をお願いします。
32	利用までの体験利用の期間及び回数	2日～1週間程度 2～3回	50日を超えない期間
33	金銭管理契約	預かり可	金銭管理契約は行っていないが、必要に応じてお手伝いは可能
34	服薬支援の状況	食事の際に服薬について確認。薬の預かり等の管理は行わない	事業所側で管理
35	外出時の同行範囲と支援内容	休日前の日にスーパー等への買い物支援実施、通院時の送迎	個々の要望に応えられるよう努力します。支援内容は要相談
36	利用相談窓口担当者氏名	管理者 嶋崎 広樹	坂井 亮
37	担当者で連絡がとれやすい時間帯	8:30～17:30	12:00～13:00 17:00～18:00

グループホーム

【中央部】

【中央部】

1	事業所名	◎グループホーム あおもりA	◎グループホーム朋
2	住 所	青森市花園2丁目1-11	青森市浪館前田4丁目19-36
3	電 話	017-718-7573	017-753-3026
4	F A X	017-718-7573	017-753-3026
5	利用定員	6人	6人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	統合失調症、非定型精神病、双極性感情障害	0人 (2021/3/1から運営スタート)
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	1室	6室
9	入居希望待機時に必要な手続き等		特になし
10	世話人の勤務時間	8:30~17:30 17:00~9:00	9:00~16:00
11	夜間の勤務または支援体制	可能	無
12	夜間の緊急対応体制	可能	セコム、緊急連絡網による対応
13	起床時間 消灯時間	起床6:00 消灯21:00	規定なし
14	食事提供の有無	有	無 (希望者には弁当の手配をいたします)
15	視覚障がい者への対応	不可能	不可能
16	聴覚障がい者への対応	不可能	不可能
17	車いす利用者への対応	不可能	不可能
18	発達障がいの方への対応	可能	不可能
19	65歳以上の方への対応状況	不可能	要相談
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	不可能	無
21	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	虐待マニュアルを作成し、職員の知識の研修等を行う	有 (虐待防止マニュアルの整備、研修や勉強会の実施)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	職員間、虐待防止に向け知識を身につけています	有 (虐待防止についての重要事項説明書へ記載し、グループホームで掲示・説明)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無 (自治会など)	有	有 (基本月1回入居者ミーティング、必要なときは随時行います)
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	入居者同士間に職員も介入し、コミュニケーション作りに日々働きかけています	有 (お誕生日会などのイベントを企画し参加を促します)
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	無	有 (町内会のお祭りや行事に参加)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	生活面・健康面等の状態変化がある場合、家族への報告・相談しつつ家族からの要望も聞いています	有 (定期的に利用者の近況を報告します)
29	令和元年度の入退居状況		
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)		家賃 30,000円 (特定障害者特別給付10,000円支給対象者は自己負担20,000円) 光熱水費 4月~10月 9,000円 11月~3月 14,000円 (年一度実費精算) 日用品費 5,000円 (年一度実費精算)
31	体験利用の費用 (日額実費分)		1日あたり 家賃 1,000円 光熱水費 300円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	2泊、1回	特に制限なし。ご本人様と相談の上、期間を決定。
33	金銭管理契約	可能	有
34	服薬支援の状況	可能	基本は本人管理 (希望者に、お薬カレンダーに薬をセットしたり服薬確認します)
35	外出時の同行範囲と支援内容	買い物、銀行、通院、市役所等	支援が必要な場合、可能な限り同行 (買い物、通院、公的機関、銀行)
36	利用相談窓口担当者氏名	勝又 昭彦	戸来 (へらい)
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8:30~17:00	9:00~16:00

グループホーム

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	①はやて	②はやぶさ
2	住 所	青森市新城字平岡102	青森市石江1丁目21番地5
3	電 話	017-787-3121	017-763-5221
4	F A X	017-787-3122	017-763-5222
5	利用定員	48人	190人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	身体:3人、知的47人、精神3人	身体:22人、知的:188人、精神:4人
8	現在の空室状況（R3.3.1現在）	1人部屋1室	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	要相談	要相談
10	世話人の勤務時間	6:00~9:00 16:45~21:45	①(朝)6:00~9:30 (夕)17:00~21:30 ②(朝)6:30~9:30 (夕)16:45~21:45 ③(日勤)8:30~17:30
11	夜間の勤務または支援体制	21:15~6:15(巡回夜勤) 21:30~6:30(常駐夜勤)	夜勤者(21:30~6:30)
12	夜間の緊急対応体制	夜勤者。必要時、入所施設との連携。	夜勤者
13	起床時間 消灯時間	起床:6時 消灯:22時	起床:6時 消灯:22時
14	食事提供の有無	有	有
15	視覚障がい者への対応	該当無	要相談
16	聴覚障がい者への対応	該当無	要相談
17	車いす利用者への対応	該当無	可能
18	発達障がいの方への対応	構造化(スケジュール管理、絵カード等)	構造化(スケジュール管理、絵カード等)
19	65歳以上の方への対応状況	食事形態(刻み、とろみ食)、体調管理	食事形態(刻み、とろみ食等 体調管理)
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	要相談	要相談
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	・虐待防止マニュアルに基づく対応 ・虐待防止セルフチェック ・年2回虐待防止研修(全職員)	有(虐待防止委員会の設置、虐待防止セルフチェックの実施(毎月)、全体研修による全体への周知等)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	・月1回オンブズマン定期訪問 ・虐待防止通報窓口の掲示	有(苦情解決、虐待防止対応窓口への掲示、重要事項説明書への記載等)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	無	有(利用者会議)
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	ホーム会議にて関係者との情報共有と対応にて早期解決に努める。	有(利用者、世話人からの相談内容により話し合う機会を設ける。毎月1回オンブズマンによる個別面談(希望者))
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	・ゆきわり会夏祭り ・福祉ねふた ・町会のねふた参加、運動会参加 等	無(検討中)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	必要時電話等での報告、行事参加時の交流等	有(必要に応じて電話、メール・FAXでの報告。行事参加時の交流、オンライン面会)
29	令和元年度の入居状況	・新規入居者 1人(知的1人) ・退居者 0人	・新規入居者 19人 (知的18人、精神1人) ・退居者 10人 (障害者支援施設、グループホーム、病院、在宅)
30	1月の利用料・実費分(内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃24,000円-特定障害者特別給付費(10,000円)-その他助成金(各地域による)-自己負担額 光熱費10,000円 ※年度末に於いて年度の精算をする 食費(給食材料費の合計÷全体の食事回数=1食 1食×食事回数=1か月の食費)	家賃24,000円-特定障害者特別給付費(10,000円)-その他助成金(各地域による)-自己負担額 自己負担額が5,000円以上の場合は一律5,000円とする。また0~5,000円未満の場合はその額とする。 光熱費15,000円(年度末に精算を行う) 預り金等管理料1,500円 食費 実費(給食材料費の合計÷全体の食事回数=1食 1食×食事回数=1か月の食費) 自己負担 実費 2,000~5,000円程度(ホーム制)
31	体験利用の費用(日額実費分)	受給者証の支給決定内	定率負担 原則指定共同生活援助に要した額の1割(市区町村が定めた額)
32	利用までの体験利用の期間及び回数	受給者証の支給決定内	30日
33	金銭管理契約	有	有(「社会福祉法人ゆきわり会 利用者所持金取り扱い規程」による)
34	服薬支援の状況	・看護師にて管理 ・世話人にて与薬	有(服薬支援者)
35	外出時の同行範囲と支援内容	・帰省(要相談) ・市内の買い物、イベント等	市内(買い物等) 市外・県外(帰省等)
36	利用相談窓口担当者氏名	小林 寿江、江良 優希	西巻 悟志、新山 有紀、宮川 康之
37	担当者と連絡がとれやすい時間帯	8:30~17:00(月~金)	9:00~17:00(月~金)

グループホーム

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	⑬グループホーム ほほえみの園	⑭グループホーム 第3ほほえみの園
2	住 所	青森市四戸橋字機部10	青森市四戸橋字機部40-11
3	電 話	017-754-4629 バックアップ施設(徳誠園) 754-3713	017-754-3275 バックアップ施設(徳誠園) 754-3713
4	F A X	バックアップ施設(徳誠園) 754-2427	バックアップ施設(徳誠園) 754-2427
5	利用定員	7人	5人
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	外部サービス利用型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:5人 合計5人	知的:5人 合計5人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	2室	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	待機登録の手続き、グループホームの見学等 アセスメントし障害状況の把握	待機登録の手続き、グループホームの見学等 アセスメントし障害状況の把握
10	世話人の勤務時間	5:00~8:00、16:00~19:00	5:45~8:45、16:00~19:00
11	夜間の勤務 または支援体制	0人	0人
12	夜間の緊急対応体制	バックアップ施設(徳誠園)に電話連絡	バックアップ施設(徳誠園)に電話連絡
13	起床時間 消灯時間	起床:6時 消灯:23時	起床:6時 消灯:23時
14	食事提供の有無	有	有
15	視覚障がい者 への対応	不可能	不可能
16	聴覚障がい者 への対応	不可能	不可能
17	車いす利用者 への対応	不可能	不可能
18	発達障がいの方 への対応	不可能	不可能
19	65歳以上の方 への対応状況	健康状態の把握、維持に手厚く努めている	健康状態の把握維持に手厚く努めている
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	夜間体制に無理がある	夜間体制に無理がある
21	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> 胃ろう: 不可能 経鼻栄養: 不可能 気管切開: 不可能 人工呼吸器: 不可能 褥そう処置: 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> 胃ろう: 不可能 経鼻栄養: 不可能 気管切開: 不可能 人工呼吸器: 不可能 褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有(職員の虐待防止の外部研修会、意見箱の設置、施設内外勉強会、オンブズマン導入)	有(外部研修会、施設内外勉強会、意見箱の設置、オンブズマン導入)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有(掲示物の掲示、重要事項説明書)	有(掲示物の掲示、重要事項説明書)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	無	無
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	有(外出等での食事会、入居者、世話人、サビ管を捉えたミーティング)	有(外出等での食事会、入居者、世話人、サビ管を捉えたミーティング)
26	入所者の宿泊旅行の有無	平成29年度、一泊旅行等実施	平成29年度、一泊旅行実施
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有(地域行事の参加、漁港祭り、地域清掃活動への参加)	有(地域行事の参加、漁港祭り、地域清掃活動への参加)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有(行事、帰省の参加への働きかけ、機関紙の発送、健康状態、通院状況の電話連絡、面会日に来園していただき生活状況等の説明)	有(行事、帰省の参加への働きかけ、機関紙の発送、健康状態、通院状況の電話連絡、面会日に来園していただき生活状況等の説明)
29	令和元年度の入退居状況	<ul style="list-style-type: none"> 新規入居者 0人 退居者 0人 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入居者 0人 退居者 0人
30	1月の利用料:実費分(内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃自己負担 5,000円 光熱水費約 4,800円 食費約 41,000円	家賃自己負担 0円 光熱水費約 3,200円 食費約 44,000円
31	体験利用の費用(日額実費分)	1日約1,200円	1日約1,170円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	ご本人の希望に応じて相談していく	ご本人の希望に応じて相談していく
33	金銭管理契約	有(費用 0円)	有(費用 0円)
34	服薬支援の状況	薬は本人管理で服薬確認のみ	GHで薬預かり
35	外出時の同行範囲と支援内容	青森県内	青森県内
36	利用相談窓口担当者氏名	青木 倉之	青木 倉之
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8:30~17:30	8:30~17:30

グループホーム

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	⑩グループホームまことの園	⑩グループホームあけぼの
2	住 所	青森市四戸橋字機部64-3	青森市新城字平岡30-11
3	電 話	017-754-2944	017-788-0144
4	F A X		017-787-2145
5	利用定員	16人	20人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:14人、精神:1人 合計15人	知的:18人 合計18人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	1室	2室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	待機登録様式の記入 簡潔なアセスメント様式により状況確認を行う	
10	世話人の勤務時間	7時間	17:00~翌8:30
11	夜間の勤務 または支援体制	1人	4人 (内訳:4ホームに各1人)
12	夜間の緊急対応体制	バックアップ施設への連絡	世話人+連絡網
13	起床時間 消灯時間	起床:6時 消灯:22時	起床:6時30分 消灯:22時
14	食事提供の有無	有	有
15	視覚障がい者への対応	状況により可能	対応した事がない
16	聴覚障がい者への対応	状況により可能	対応した事がない
17	車いす利用者への対応	状況により可能	対応した事がない
18	発達障がいの方への対応	要相談	対応した事がない
19	65歳以上の方への対応状況	健康面を重視し支援	今までどおり
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	状況に応じて可能	対応した事がない
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有 (外部研修、支援委員会、2カ月に1回虐待防止委員会、オンブズマン導入、論理綱領の唱和、内部研修、職員質の向上の為に施設見学、虐待チェックリストの記入及び管理職との面談、外部講習を招いての研修)	有 (福祉協会作成の論理綱領の配布と掲示、ミーティング時の情報交換 他)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有 (第三者委員会面談、オンブズマン導入、外部研修参加、掲示物による啓発)	有
24	入居者自身が主体となった集まりの有無 (自治会など)	有 (入居者会議~利用者が司会を行い進めている)	無
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	有 (余暇支援、工作活動)	有 (同一の障害福祉サービス事業所を利用し、人間関係は濃い)
26	入所者の宿泊旅行の有無	平成30年度1泊旅行実施 平成30年度日帰り旅行実施	有 (利用する障害福祉サービス事業所が実施する旅行に参加)
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有 (地域との合同の行事、ねふた等)	無
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有 (面会日、行事参加、広報紙発行)	有 (定期的に家族会を開き、情報交換)
29	令和元年度の入退居状況	・新規入居者 1人 ・退居者 0人	・新規入居者 0人 ・退居者 0人
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 10,000円 光熱水費 6,000円 食費 38,000円	家賃 25,000円 公益費 8,000円 食費 700円 (朝、夕)
31	体験利用の費用 (日額実費分)	食費3食分 1,250円(1日) 光熱費 197円(1日)	体験利用の制度なし
32	利用までの体験利用の期間及び回数	30日 回数は相談に応じる	体験利用の制度なし
33	金銭管理契約	有 (費用 0円)	有
34	服薬支援の状況	GHで薬預かり	GHで薬預かり
35	外出時の同行範囲と支援内容	サービス管理責任者、支援スタッフ、世話人が利用者の要望に応じ、青森市近辺を同行する	
36	利用相談窓口担当者氏名	サービス管理責任者 泉 宏雄	藤田 英樹
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	9:00~17:00	9:00~16:00

グループホーム

【西部・北部】

【西部・北部】

1	事業所名	⑩グループホーム承実	⑪青森ダルク・エマオホーム
2	住 所	青森市新城山田109-6	青森市小橋田川15-1
3	電 話	017-752-7725	017-718-2090
4	F A X	017-752-7726	017-718-2090
5	利用定員	8人	6人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	発達障がい	精神障がい
8	現在の空室状況（R3.3.1現在）	6床	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	受付後体験入所	面談
10	世話人の勤務時間	7:00～20:00	9:00～17:00
11	夜間の勤務または支援体制	20:00以降管理者への電話（必要時管理者が施設に行き対応）	夜間、深夜通して病状の急変などに備えている
12	夜間の緊急対応体制	上記対応、隣に同法人のグループホームあり	夜間常時の連絡体制をとっている
13	起床時間 消灯時間	起床:7時（早番） 消灯:20時（遅番）	起床 8:30 消灯 11:00
14	食事提供の有無	3食対応（毎日）	有（昼、夜）
15	視覚障がい者への対応	要相談	要相談
16	聴覚障がい者への対応	要相談	要相談
17	車いす利用者への対応	要相談	不可
18	発達障がいの方への対応	要相談	有
19	65歳以上の方への対応状況	要相談	有
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	要相談	有
21	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	内外研修に参加、職員会議にて周知	有（マニュアルに準じて）
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	施設内パンフレット、リーフレット、契約時説明	マニュアル、相談窓口の連絡先を掲示。説明を個人に行っている
24	入居者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	無	自助グループ等の集まりあり
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	職員が間に入る、外出行事（月1回程度）	入居者の中から寮長を決め、入居者同士の意思を確認している
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	不定期だが全員参加で実施
27	入所者の地域交流の機会等の有無	無	雪かき、清掃、草刈りなど地域ボランティア活動
28	施設側からの家族へのかかわり状況	月1回近況報告（請求書に同封）	「家族会」と連携して定期的な集会に参加
29	令和元年度の入退居状況		
30	1月の利用料:実費分（内訳:家賃、光熱費、食費等）	家賃 31,000円 光熱費 15,000円 食費（1食） 400円	家賃 31,000円 光熱費 約10,000円 食費 30,000円 合計 約70,000円
31	体験利用の費用（日額実費分）	1日 家賃 1,000円 水道光熱費 500円 食費（1食） 400円	応相談
32	利用までの体験利用の期間及び回数	2～3回程度	状況に応じて
33	金銭管理契約	法人との契約にて会社管理あり	無
34	服薬支援の状況	施設管理可、手渡し服用確認	有
35	外出時の同行範囲と支援内容	青森市内（それ以外も相談に乗ります）。同行、送迎どちらも可	状況次第
36	利用相談窓口担当者氏名	吉田 淳吾	笹崎 正吾
37	担当者ご連絡がとれやすい時間帯	平日 8:00～17:00 ですが、24時間365日対応します	いつでも

グループホーム

【南部】

【南部】

1	事業所名	㊸グループホーム あおぞら (「テネブ」「アルビレオ」「玉川荘」「オレンジ」)	㊸グループホームおれんち
2	住 所	青森市問屋町1丁目15-10(本部) ※各GHは問屋町、妙見、北金沢	青森市野尻字今田53-7
3	電 話	017-728-8601	017-762-0605
4	F A X	017-738-2563	017-762-0605
5	利用定員	24人	16名
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	外部サービス利用型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:2人、精神:18人 合計20人	知的:11名 精神:4名
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	オレンジ(女性専用)1室、玉川荘、テネブ、アルビレオ(男性専用)各1室	1室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	特になし	相談支援事業所への相談
10	世話人の勤務時間	①8:00~11:00 14:30~17:30 ②9:30~16:30(うち6時間) ③8:45~16:55	6:00~19:00
11	夜間の勤務または支援体制	0人	無
12	夜間の緊急対応体制	セコム、グループホームスタッフ(バックアップ施設:支援センター八甲)	管理者等の連絡先を掲示
13	起床時間 消灯時間	起床:規定なし 消灯:規定なし(門限20時、20時から6時まで外出不可)	起床:6時 消灯:21時
14	食事提供の有無	無(宅配弁当の利用を行っている方が多い)	有(月~土の朝・夕のみ)月~土の昼・日曜・祝日は無
15	視覚障がい者への対応	不可能	無
16	聴覚障がい者への対応	不可能	無
17	車いす利用者への対応	不可能	無
18	発達障がいの方への対応	服薬がある程度自己管理できて、共同生活が営めるかどうか 集団生活ができるか	有
19	65歳以上の方への対応状況	基本的には65歳未満の利用。65歳未満で入所した場合は入所継続可能。身体的な状況に応じて、高齢者施設への移行を支援している。	有
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	今まで支援した事がない	有
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	有
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有(法人に虐待防止委員会が設置されており、虐待防止責任者、担当者が配置されている。)	法人内での研修
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有(全体集会で説明している。ポスターや担当者の掲示物あり。)	事業所内に虐待防止ポスターの掲示
24	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(必要時に全体集会を行っている)	無
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	有(個別に話し合いを行ったり、必要があれば全体集会で話し合いを行ったりしている。)	職員等の介入
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有(地域活動支援センターの地域交流の行事へ参加している)	無
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有(生活状況、健康状態など変化時にご家族へ連絡したり、入所者様との関係調整を行っている。帰省時の連絡調整、電話等)	定期的な利用者の状況報告
29	令和元年度の入退居状況	・新規入居者 3人 ・退居者 2人 ・退居先(共同住居、有料老人ホーム)	・新規入居者 14人 ・退去者 0人
30	1月の利用料:実費分(内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 玉川荘・オレンジ 30,000円(10,000円の支給があるため、自己負担20,000円) テネブ・アルビレオ 31,000円(10,000円の支給があるため、自己負担21,000円) 光熱水費 実費負担 日用品費 5,000円	家賃 30,000円 食費 20,000円 光熱水費 均等に割って負担(光熱費は個人メーター有) 暖房燃料費(11月~3月) 月額10,000円
31	体験利用の費用(日額実費分)	家賃 1日あたり1,000円 光熱水費 1日あたり 300円 日用品費 1日あたり 100円	宿泊費 1日1,000円 食費 1回分 朝食235円・夕食425円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	ご本人様の希望で	3日~7日
33	金銭管理契約	有(費用 0円)	有
34	服薬支援の状況	基本的には自己管理。必要に応じて服薬確認を行っている。	有
35	外出時の同行範囲と支援内容	支援が必要ならば可能な限り、受診同行・買い物同行・手続き同行等(タクシーやバス等の交通機関での同行支援が基本)	各自及び職員引率
36	利用相談窓口担当者氏名	佐藤、塩谷	鎌田 洋子
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	8:45~16:55	9:00~16:00

グループホーム

【南部】

【東部】

1	事業所名	㊤グループホームあおば	㊤グループホーム登夢ソーヤ
2	住 所	青森市青葉3丁目3-6	青森市四ツ石字里見74-2
3	電 話	017-718-0483	017-764-2424(地域活動支援センター-すばる)
4	F A X	017-718-0484	017-764-2425(地域活動支援センター-すばる)
5	利用定員	7名	10人
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	外部サービス利用型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的障がい、精神障がい	精神8人 合計8人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	3室 (4月から満床予定)	2室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	入居希望届	体験利用のための支給決定
10	世話人の勤務時間	7:00~20:00	9:00~16:00 (月~金)
11	夜間の勤務または支援体制	不眠時対応、緊急時対応、就寝時巡回安否確認、就寝準備確認	0人
12	夜間の緊急対応体制	夜勤者対応	セコムでの対応、地域活動支援センター-すばるでの支援
13	起床時間 消灯時間	起床:7時 消灯:20時	起床:6時~7時位 消灯:22時
14	食事提供の有無	有 (外部からの提供)	無
15	視覚障がい者への対応	無	その他 (要相談)
16	聴覚障がい者への対応	無	その他 (要相談)
17	車いす利用者への対応	無	不可能 (要相談)
18	発達障がいの方への対応	有	その他 (要相談)
19	65歳以上の方への対応状況	有	実施している
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	有	以前利用していた方はいる
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	年2回の内部研修と外部研修の実施	有 (職員研修)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	障がい者虐待防止のパンフレットの啓示	有 (パンフレット配布、提示)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無 (自治会など)	無	有 (1/月回 入居者ミーティング)
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	食事時間等の会話やコミュニケーション作り	無
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	無	有 (すばるの行事への参加、各自が通所している事業所での行事参加)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有	無 (必要時には連絡するが、家族の総会などはなし)
29	令和元年度の入退居状況		・新規入居者 1人 ・退居者 1人 ・退居先 自宅 (家族同居)
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 31,000円 食材料費 34,100円 1日1,100円(朝・夕) 光熱水費 13,000円	家賃: 20,000~25,000円 灯油代(青柳寮): 1日100円(11~3月)、(登夢ソーヤ) 各自用意 共益費: 実費負担 ※目安 (青柳寮) 9,000円、(登夢ソーヤ) 12,000円
31	体験利用の費用 (日額実費分)	1日 2,200円 (食費、宿泊代含む)	0円
32	利用までの体験利用の期間及び回数	利用日数に応じる	2~3回
33	金銭管理契約	有	有 (費用 0円)
34	服薬支援の状況	要相談	普段は応じていないが、必要に応じて確認
35	外出時の同行範囲と支援内容	要相談	病院(慣れていないところ、定期受診以外の)同行、市役所、銀行への同行
36	利用相談窓口担当氏名	福沢 貴紀	越智 裕(地域活動支援センター-すばる)
37	担当者と連絡がとれやすい時間帯	10:00~17:00	9:00~17:00(月~金)

グループホーム

【東部】

【東部】

1	事業所名	㉓共同生活援助事業 ホ-ムこぶし、㉔ホ-ムこぶしII	㉕ 1グループホーム ホ-プ 2ほっと 3こやなぎ (バックアップ施設月見寮)
2	住 所	青森市幸畑1丁目35-8、青森市幸畑字谷脇114-3	青森市駒込字月見野918-3(バックアップ施設住所)
3	電 話	017-738-3100 (こぶし園)	017-742-3000(バックアップ施設)
4	F A X	017-738-3324 (こぶし園)	017-742-3384(バックアップ施設)
5	利用定員	22人	ホ-プ5人、ほっと5人、こやなぎ4人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	合計20人	知的
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	2室 (男性)	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	特になし	
10	世話人の勤務時間	16:00～翌10:00	15:30～20:30、6:00～9:00
11	夜間の勤務または支援体制	1人	バックアップ施設への連絡
12	夜間の緊急対応体制	サブ管に連絡後、必要に応じてバックアップ施設へ協力を依頼する。	マニュアル有り
13	起床時間 消灯時間	起床:6～7時 消灯:23時	起床:概ね6時 消灯:22時 個人の生活状況に合わせた時間を設定しています
14	食事提供の有無	有	有
15	視覚障がい者への対応	不可能 (設備的に現在は難しい)	不可能
16	聴覚障がい者への対応	現在、補聴器を使用している方が2人入居	不可能
17	車いす利用者への対応	不可能	不可能
18	発達障がいの方への対応	現在スケジュール使用の利用者1人、他障害の状況による	不可能
19	65歳以上の方への対応状況	65歳以上:5人 (必要に応じて送迎している)	生活介護 (本体施設へ通所している)
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	事件内容によっては支援可能 (今まで支援した事がない)	
21	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> 胃ろう: 不可能 経鼻栄養: 不可能 気管切開: 不可能 人工呼吸器: 不可能 褥そう処置: 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> 胃ろう: 不可能 経鼻栄養: 不可能 気管切開: 不可能 人工呼吸器: 不可能 褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有 (委員会の設置、セルフチェックリストの活用)	有
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有 (重要事項説明書へ記載し、各ホームへ掲示)	有
24	入居者自身が主体となった集まりの有無 (自治会など)	有 (2ヶ月に1回のペースで自治会を開き、苦情や要望を聞いている)	無
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	有 (祝日を利用してホーム合同の調理支援や、年に数回のイベントを実施している)	行事の企画、ホーム内でティータイムの時間を設けています。
26	入所者の宿泊旅行の有無	有 (親子、または利用者だけの家族旅行を実施希望は本人、保護者へ伺い、日帰り旅行も行っている)	無
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有 (バックアップ施設の夏祭り等の際、町内へチラシにて事前にお知らせし、無料食券を配布している)	無
28	施設側からの家族へのかかり状況	有 (バックアップ施設での行事へ保護者が来園した際に話をするようにし、近況報告している)	有 (帰省の連絡、広報の送付、緊急時の連絡対応)
29	令和元年度の入退居状況	<ul style="list-style-type: none"> 新規入居者 0人 退居者 0人 待機者 3人 (知的3人) 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入居者 なし 退居者 2名 退居先 青森月見寮入所
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 5,000円 光熱費 19,000円 食費 19,000円 日曜品費 1,000円 合計 44,000円	家賃 15,000～25,000円 食事代 1食あたり372円 光熱費 15,000円 日用品費 2,000円
31	体験利用の費用 (日額実費分)	1泊 1,200円 ※冬季間 (12～3月) 1,500円	
32	利用までの体験利用の期間及び回数	特になし (1年間の体験利用を行い、入居した方がいた)	
33	金銭管理契約	有 (費用 0円)	有 (費用 1,500円)
34	服薬支援の状況	GHで薬預かり その他 (お薬カレンダーに薬をセットしたものを、本人管理で服薬確認している方2人)	GHで薬預かり 薬は本人管理で服薬確認のみ
35	外出時の同行範囲と支援内容	必要があれば範囲に関わらず同行。 現在、年に4回市内へショッピングに出掛け、支援している。	状況によって同行支援を行う
36	利用相談窓口担当者氏名	梅山 秀子	沢田 竜志、中村 美希子
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	7:30～16:30 (水～土)	9:00～17:00 (月～金)

グループホーム

【東部】

【東部】

1	事業所名	㊤グループホームきぼう	㊤グループホームえん
2	住 所	青森市古館字大柳88-10	青森市筒井3丁目8-2
3	電 話	017-757-9090	017-718-7773
4	F A X	017-718-2535	017-718-7774
5	利用定員	4人	6人
6	事業所のタイプ	外部サービス利用型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	視覚:3人 知的:1人 合計:4人	知的、精神
8	現在の空室状況（R3.3.1現在）	2室	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	名簿を作成し文書にて連絡面談	見学、面談、受給者証の申請
10	世話人の勤務時間	9:00～18:00	5:00～22:00
11	夜間の勤務または支援体制	2人	有(22:00～5:00)
12	夜間の緊急対応体制	セコム、世話人、管理者	夜間支援員による対応
13	起床時間 消灯時間	起床:6時 就寝:21時	決まり無し
14	食事提供の有無	有	有（朝・夕）
15	視覚障がい者への対応	可能	該当無し
16	聴覚障がい者への対応	不可能	該当無し
17	車いす利用者への対応	可能	該当無し
18	発達障がいの方への対応	不可能	研修の参加やスキルを身につけるための学習、主治医や看護師との連携
19	65歳以上の方への対応状況		該当無し
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	要相談	外出時の付き添い、入居者同士の居室の出入り禁止
21	医療行為が必要な方の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう: 該当なし ・経鼻栄養: 該当なし ・気管切開: 該当なし ・人工呼吸器: 該当なし ・褥そう処置: 該当なし
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有（文書にて記載）	有（虐待防止マニュアルの整備、虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の設置、虐待を防止するための体制、対応・対策・改善等の取組、事業所内外の研修、従業者のアンケート調査）
23	虐待防止に向けた入居者への啓発		有（運営規定・重要事項説明書への記載・説明、施設内への掲示）
24	入居者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）		無
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ		季節の行事、軽食会、誕生会等への参加を促し、交流の機会を作る
26	入所者の宿泊旅行の有無		無
27	入所者の地域交流の機会等の有無		有（町内会の夏祭り参加）
28	施設側からの家族へのかかわり状況		定期的な連絡等（電話）
29	令和元年度の入退居状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入居者 4人 ・退去者 0人 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者 1人 ・退去者 2人
30	1月の利用料:実費分 (内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃 32,000円 光熱費 20,000円 食費 45,000円 合計 97,000円	家賃:27,000円（受給者証の補足給付対象の方は17,000円） 食費(朝・夕):27,000円 設備維持費:3,000円 光熱水費:実費
31	体験利用の費用 (日額実費分)		家賃:900円 食費(朝・夕):900円 設備維持費:100円 光熱水費:300円
32	利用までの体験利用の期間及び回数		期間:2泊から（受給者証記載の支給量の日数まで） 回数:3回まで
33	金銭管理契約	有（本人の希望があれば）	有
34	服薬支援の状況		支援有
35	外出時の同行範囲と支援内容		受診・買物・銀行・公的機関等への同行、手続き等の支援
36	利用相談窓口担当者氏名	柴田 久雄、長内 規暁	高坂 貴美子
37	担当者と連絡がとれやすい時間帯	9:00～18:00	9:00～17:00(月～金)

グループホーム

【東部】

【浪岡地区】

1	事業所名	㊸グループホーム アリス浜館	㊸ハイツたるさわ
2	住 所	青森市浜館3丁目8-7	青森市浪岡下十川字白鳥沼46-1
3	電 話	017-752-7367	0172-62-8525
4	F A X	017-752-7367	0172-62-8525
5	利用定員	浜館4、八重田4	5人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別（R3.3.1現在）	特になし	知的5人 合計5人
8	現在の空室状況（R3.3.1現在）	浜館0（今後変更次第） 八重田1	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	申込書	グループホームの見学、体験利用
10	世話人の勤務時間	15:00～翌9:00	15:30～10:00
11	夜間の勤務または支援体制	有	1人（世話人 夜勤体制）
12	夜間の緊急対応体制	世話人勤務	りんどう苑によるバックアップ体制
13	起床時間 消灯時間	起床6:00～7:00 消灯22:00	起床7時頃 消灯22時頃
14	食事提供の有無	有（朝・夕）	有（食事支援の方法：朝、夕、休日の昼食）
15	視覚障がい者への対応	無（希望があれば対応）	不可能
16	聴覚障がい者への対応	無（希望があれば対応）	不可能
17	車いす利用者への対応	無（希望があれば対応）	不可能
18	発達障がいの方への対応	無（希望があれば対応）	不可能
19	65歳以上の方への対応状況	利用不可	現在65歳以上の方は利用していない
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	関係期間と相談の上対応	事件内容によっては支援可能 その他（利用者同士の相性問題が課題）
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう：不可能 ・経鼻栄養：不可能 ・気管切開：不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能	・胃ろう：不可能 ・経鼻栄養：不可能 ・気管切開：不可能 ・人工呼吸器：不可能 ・褥そう処置：不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	年1回研修	有（毎月の職員会議で勉強会、全国での事例の紹介、年1回職員セルフチェックの実施）
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	契約時、または必要に応じて実施	有（パンフレットの掲示）
24	入居者自身が主体となった集まりの有無（自治会など）	無	有（グループホーム利用者の自治会「みんなの会」、バーベキュー、作品作り、カラオケ会、旅行等）
25	入居者同士の人間関係作りに向けた働きかけ	行事等有（現在はコロナのためなし）	有（自治会主催の行事、利用者同士の話し合いの場の提供）
26	入所者の宿泊旅行の有無	無	有
27	入所者の地域交流の機会等の有無	希望があれば参加有（現在はコロナのためなし）	有（町内会の行事やスポーツ会への参加）
28	施設側からの家族へのかかわり状況	必要に応じて連絡	有（帰省、面会の実施）
29	令和元年度の入退居状況		・新規入居者 0人 ・退居者 0人
30	1月の利用料・実費分（内訳：家賃、光熱費、公益費、食費等）	家賃 19,000～30,000円 光熱費 10,000円～ 公益費 1,000円 食費 朝350円 夕500円	家賃15,000円 光熱水費、日用品費 平均月20,000円位 食費は月単位で食数から食単価を計算 平均月18,000円位
31	体験利用の費用（日額実費分）	家賃 633～1,000円 光熱費 340円 食費 朝350円 夕500円	光熱水費、日用品費を日割り計算。 食事代は1ヶ月分の食数から、1食分の食単価を計算 1ヶ月遅れて請求、1日約（800円～1,000円）程度
32	利用までの体験利用の期間及び回数	30日まで	特に定めは無く状況に応じて 2週間から1ヶ月程度が多い
33	金銭管理契約	有（必要な人のみ）	有（費用 月額1,000円）
34	服薬支援の状況	有（必要な人のみ）	GHで薬預かり
35	外出時の同行範囲と支援内容	必要に応じて買い物、通院支援	買い物、行事等で青森市内、黒石、弘前、五所川原市内 移動支援事業を利用して、青森市内へ外出
36	利用相談窓口担当者氏名	本堂 絵里子	清野 浩
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	9:00～18:00	11:00～15:00

グループホーム

【浪岡地区】

【浪岡地区】

1	事業所名	㊸ハイツなみおか	㊸ハイツひまわり
2	住 所	青森市浪岡浪岡字平野19-1	青森県青森市浪岡浪岡字淋城24-33
3	電 話	0172-62-0058	0172-62-5012
4	F A X	0172-62-0058	0172-62-5012
5	利用定員	5人	7人
6	事業所のタイプ	介護サービス包括型	介護サービス包括型
7	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	知的:3人、精神:2人 合計 5人	知的:7人 合計7人
8	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	0室	0室
9	入居希望待機時に必要な手続き等	グループホームの見学、体験利用	グループホームの見学、体験利用
10	世話人の勤務時間	15:30~10:00	15:30~10:00
11	夜間の勤務または支援体制	1人(世話人 夜勤体制)	1人(世話人 夜勤体制)
12	夜間の緊急対応体制	りんどう苑によるバックアップ体制	りんどう苑によるバックアップ体制
13	起床時間 消灯時間	起床:7時頃 消灯:22時頃	起床:7時頃 消灯:22時頃
14	食事提供の有無	有(食事支援の方法:朝、夕の提供)	有(食事支援の方法:朝、夕)
15	視覚障がい者への対応	不可能	不可能
16	聴覚障がい者への対応	不可能	不可能
17	車いす利用者への対応	不可能	不可能
18	発達障がいの方への対応	不可能	不可能
19	65歳以上の方への対応状況	現在65歳以上の方は利用していない	現在65歳以上の方は利用していない
20	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	事件内容によっては支援可能 その他(利用者同士の相性問題が課題)	事件内容によっては支援可能 その他(利用者同士の相性問題が課題)
21	医療行為が必要な方の受入	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能	・胃ろう: 不可能 ・経鼻栄養: 不可能 ・気管切開: 不可能 ・人工呼吸器: 不可能 ・褥そう処置: 不可能
22	事業所内の虐待防止に向けた取組	有(毎月の職員会議で勉強会、全国での事例の紹介、年1回職員セルフチェックの実施)	有(毎月の職員会議で勉強会、全国での事例の紹介、年1回職員セルフチェックの実施)
23	虐待防止に向けた入居者への啓発	有(パンフレットの掲示)	有(パンフレットの掲示)
24	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	有(グループホーム利用者の自治会「みんなの会」、バーベキュー、作品づくり、カラオケ会、旅行等)	有(グループホーム利用者の自治会「みんなの会」、バーベキュー、作品作り、カラオケ会、旅行等)
25	入居者同士の間関係作りに向けた働きかけ	有(自治会主催の行事、利用者同士の話し合いの場の提供)	有(自治会主催の行事、利用者同士の話し合いの場の提供)
26	入所者の宿泊旅行の有無	有	有
27	入所者の地域交流の機会等の有無	有(町内会の行事やスポーツ会への参加)	有(町内会の行事やスポーツ会への参加)
28	施設側からの家族へのかかわり状況	有(帰省、面会の実施)	有(帰省、面会の実施)
29	令和元年度の入退居状況	・新規入居者 0人 ・退居者 0人	・新規入居者 0人 ・退居者 0人
30	1月の利用料:実費分(内訳:家賃、光熱費、食費等)	家賃12,000円 光熱水費、日用品費 平均月20,000円 食費は月単位で食数から食単価を計算 平均月18,000円位	家賃 12,000円 光熱水費用、日用品費 平均月20,000円位 食費は月単位で食数から食単価を計算 月18,000円位
31	体験利用の費用(日額実費分)	光熱水費、日用品費を日割り計算。 食事代は1ヶ月分の食数から、1食分の食単価を計算 1ヶ月遅れて請求、1日約(800円~1,000円)程度	光熱水費、日用品費を日割り計算 食事代は1ヶ月分の食数から、1食分の食単価を計算 1ヶ月遅れて請求、1日約(800円~1,000円)程度
32	利用までの体験利用の期間及び回数	特に定めは無く状況に応じて2週間から1ヶ月程度が多い	特に定めは無く状況に応じて2週間から1ヶ月程度が多い
33	金銭管理契約	有(費用 月額1,000円)	有(費用 月額1,000円)
34	服薬支援の状況	GHで薬預かり	GHで薬預かり
35	外出時の同行範囲と支援内容	買い物、行事等で青森、黒石、弘前、五所川原市内へ外出	買い物、行事等で青森市内、黒石、弘前、五所川原市内 移動支援事業を利用して、青森市内へ外出
36	利用相談窓口担当者氏名	清野 浩	清野 浩
37	担当者との連絡がとれやすい時間帯	11:00~15:00	11:00~15:00

宿泊型自立訓練事業所調べ

【南部】

【東部】

1	事業所名	①自立訓練所 ほのぼの寮	②自立訓練事業所 SUN
2	住 所	青森市間屋町1丁目15-10	青森市大字四ツ石字里見75-2
3	電 話	017-738-2260	017-738-2525
4	F A X	兼用	017-764-2425
5	利用定員	15人	18人
6	利用契約者の障がい種別 (R3.3.1現在)	精神：8人 発達障がい：5人 合計13人	精神：15人 合計15人
7	現在の空室状況 (R3.3.1現在)	2室 (R3.3.1現在)	3室
8	スタッフ人数		10人
9	夜間の勤務・支援体制	1人(夜勤)	1人(宿直)
10	起床時間 消灯時間	起床：6時、消灯：22時	起床：6時、消灯：22時
11	併設の日中系サービス名とその定員	自立訓練(生活訓練)(定員20名)	自立訓練(生活訓練)(定員20名)
12	日中活動の内容	月～金 午前 集団プログラム (料理教室、全体集会、レク・生活技術・社会資源の活用等各種活動) 月～金 午後 個別プログラム (金銭相談、外来通院、入浴、掃除、洗濯等)	買物、料理教室、DVD鑑賞、体育館を使用してスポーツ、勉強会、カラオケ、創作活動、ゲーム、SST、就労事業所の見学
13	併設以外の日中活動のサービス等利用している人の有無	有(精神科デイケア)	有(就労継続支援A型/B型、精神科デイケアなど)
14	視覚障がい者への対応	不可能	可能
15	聴覚障がい者への対応	不可能	可能
16	車いす利用者への対応	不可能	可能
17	発達障がいの方への対応	可能	可能
18	外出時の同行範囲と支援内容	・基本個人での外出 (必要に応じて通院援助、市役所、買い物同行等)	・外来受診及び銀行同行 ・社用車及び公的機関での同行
19	事業所内の虐待防止に向けた取組	有(法人で委員会の設置、他事業所との連携)	有(マニュアル作成、定期的勉強会でのセルフチェック、報告会)
20	虐待防止に向けた入居者への啓発	有(重要事項に記載、事業所内に掲示、入所時説明)	有(虐待への相談窓口のポスターを貼っている)
21	刑事事件または懲役を受けた障がい者の支援状況	可能	現在支援している。
22	入居者自身が主体となった集まりの有無(自治会など)	無	有(週1程度行っている)
23	入所者の宿泊旅行の有無	無	無
24	入所者の地域交流の機会等の有無	有(地域清掃、実習生の受け入れ等)	有(地域のゴミ拾い、年1度町内交流会、実習生受け入れ)
25	施設側からの家族へのかかわり状況	有(家族交流会の開催)	有(定期的なモニタリングに家族も入って頂いている)
26	令和元年度の入退所状況	・新規入所者 10人 ・退所者 6人 ・退所先 グループホーム等	・新規入居者 5人 ・退所者 4人
27	1月の利用料(実費分/内訳)	居室利用料20,000円、日用品費1,000円、個室電気使用分(その他：布団レンタル代、食費、医療費など実費)	部屋代16,000円+電気使用分+灯油代
28	利用までの体験利用の期間及び回数	基本 2泊3日 1回、その他必要に応じて 7泊8日まで可能	期間3泊位、回数2回程
29	金銭管理契約	有(費用：無料)	有(費用：無料)
30	服薬支援の状況	必要に応じて、毎回確認から	施設で預かり、確認だけ、本人預かりでの対応
31	利用相談窓口担当者氏名	所長 浅利久雄 サービス管理責任者 小倉明日美	管理者 三橋詢也 サービス管理責任者 佐藤俊明
32	担当者との連絡がとれやすい時間帯	平日、日勤帯	9:00～17:00